



RI テーマ
ロータリーに輝きを

週報 佐土原ロータリークラブ

会長：原田宗忠 副会長：日高邦孝 RI2730 地区ガバナー 田中 俊實
 幹事：長倉祐一郎 会計：竹下 隆 中部分区ガバナー補佐 押川 弘巳
 事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一 RI 会長テーマ **ロータリーに輝きを**
 例会場：ジェット・グランデ・オシャンリゾート 5階 クラブテーマ
 例会場住所：宮崎市山崎町浜山〒880-8545 『ワン ブリング ワン』
 例会場 TEL：0985-21-1133・FAX 0985-21-1024
 事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1350 回例会 平成 27 年 5 月 13 日(水)

<<今日のプログラム>>

- 1.) 点 鐘
月初めの～国家斉唱
- 2.) ♪ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3.) 4つのテスト唱和
- 4.) 会長の挨拶
- 5.) 幹事報告 6.) 出席報告
- 7.) ハッピーBOX披露
- 8.) 委員会報告
♪5月のセレモニー♪
- 9.) 会員卓話「中武 幹雄君」
- 10.) <SAA次週5月20日例会案内>
会員卓話「正岡 文郁君」
- 11.) 点 鐘

第 1349 回例会記録 平成 27 年 4 月 22 日 (水)

■会長の時間



●会長 原田宗忠君
 皆さんこんにちは、本日は第 1349 回の例会です。

ここの所ずっと良い天気が続いていますね、そこで先日鹿屋に行きまして、目的は鹿屋のバラ園です。交通の便を考えますと地区大会時の印象があり少し億劫に思ったのですが、実際は格段便利になっていました。バラ方は満開にはまだ少しばかりそうでしたが帰りに苗木を2本購入し売り場の方々に正しい手入れ方法等を教えてもらいました。今まで間違った育て方もしていたな、と分かりました。その苗木を自宅の庭に植える作業は持病のある私には結構堪える作業なのですが、女房は構わずあれもこれもと指示を出すので、又悪くなりそうでした(笑)他の各バラ達も順に咲き始めておりますからなかなか綺麗です。お時間があればお茶のみに是非お越し下さい。本日は卓話の予定でしたが都合により出来ませんので又皆さんにたくさんお話をして頂きたいと思っております。本日は、例会初めに唱和している「4つのテスト」について調べてきた事をお話します。1942年、当時の国際ロータリー(RI)理事のシカゴのリチャ

ード・ベナー氏が、ロータリーもこのテストを取り入れるべきだとの提案をしました。RI理事会は、1943年1月にベナー氏の提案を承認し、四つのテストを職業奉仕プログラムの一つの構成要素としました。もっとも、このテストは、今日では四大奉仕部門のすべてにおける不可欠の要素として認識されています。

現代社会が今いちばん必要としているものは倫理的誠実さであると言ってもいいでしょう。四つのテストは、人々が価値ある目標を追い求める際の指針として活用できます。その目標とは、友人を探し選び、その友人関係を維持すること、周りの人たちと友好関係を築くこと、幸福な家庭生活をつくりあげること、高い倫理的・道徳的基準を設定し身につけること、自ら選択した事業や専門職で成功を収めること、より良き市民となり、次の世代にとっての良き手本となること、といったことです。簡潔さの中に多くが語られ、感動的なまでに力強く、実のある成果を必ずもたらすこの四つのテストは、緊張と混乱と不確実性に満ちたこの世界のただ中に、清新で明るさにあふれた未来展望を与えてくれるのです。

四つのテストは、100か国以上の言語に翻訳されています。1954年に日本の大阪ロータリークラブは、四つのテストをバナーに印刷した最初のクラブとなりました。また、日本の別のクラブでは、にわか雨に降られてしまった通勤客たちに傘を貸し出すプロジェクトを開始しましたが、ある会員は、通勤客が借りた傘を返してくれるかどうか自信がありませんでした。そこで、別の会員が、傘の内側に四つのテストを印刷することを提案しました。数か月後、傘は数多くの人たちに利用され、すべて返却されました。四つのテストは、人々の心の中に深く刻み込まれ、目に見える形で表現されています。

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人たちに対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ロータリーによって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ロータリーの基本理念

の一つとなっています。今世紀におけるロータリーの最も素晴らしい声明の一つと言ってもよいでしょう。**創案は七つのテスト**～この四つのテストの創案者であるハーバート J.テラー (ハーブ) は、やり手で卓越したセールスマンであり、人の上に立つ人物でした。ハーブは行動家で、信仰心が厚く、道義を重んじる人物でした。1893年に米国ミシガン州に生まれたハーブは、イリノイ州エバンストンのノースウェスタン大学を苦学の末、卒業しました。卒業後、彼は、YMCAおよび英国陸軍福祉機関の任務で渡仏し、第1次世界大戦では米国海軍の補給部隊員として従軍しました。1919年にグロリア・フォーブリックさんと結婚して、米国オクラホマ州に新居を構えたハーブは、同地でシンクレア石油会社に勤務しました。彼は1年後に同社を退社し、保険・不動産・石油リース仲介業を始めました。数年に及ぶこの事業でいささかの成功を収めたハーブは、1925年にイリノイ州に戻り、シカゴのジュエル・ティー社に入社、とんとん拍子に昇進しました。そしてやがてシカゴロータリークラブの会員となりました。1932年、ジュエル・ティー社の次期社長候補であったハーブは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アルミニウム社の再建を依頼されました。調理器具メーカーの同社は、総資産額を40万ドル上回る負債を抱え、倒産の瀬戸際にありましたが、ハーブはこの難事業を引き受け、危機にひんした同社に自らの運命を託したのです。彼は、ジュエル社を辞め、これまでの給与の8割減という収入でクラブ・アルミニウム社の社長に就任しました。しかもそのうえ、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。信仰心の厚いハーブは、同社を建て直し、大恐慌下の沈滞ムードを払拭(ふっしょく)するための手段として、社員たちに倫理的価値観の目安となる簡潔な指針を提供すべく、神の啓示を求めて祈りをささげました。社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章をしたためましたが、これは長すぎると判断しました。そこでさらに推敲(すいこう)を重ね、それを7つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は、七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめ上げ、それが今日の四つのテストとなりました。

■幹事報告



より報告して頂きます。

*2015-16年度の為の地区研修協議会のご案内

1.日時：平成27年5月24日(日)

幹事●長倉祐一郎君

本日は新たな文書報告はありませんが、5月24日(日)に開催されます次年度地区研修協議会の登録締め切りが本日にて後ほど日高会長エレクト

登録時間：9:00～開会9:30 閉会15:30

2.場所：延岡市野口記念会館

3.ホストクラブ：延岡東ロータリークラブ

5.登録料：8,000円

7.登録・振込み締め切り：4月22日(水)

■出席報告 ●中武 幹雄君

会員数=26名(免除2名)	出席率=84.0%
出席数=21名	メイク届=0
欠席届=5名	修正～率=79.1%



■ハッピーBOX披露 ●柳田 光寛君

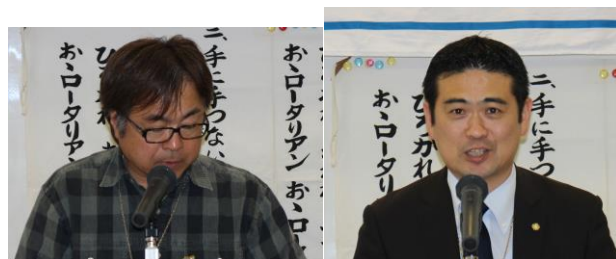
<30周年基金へ>

●長倉祐一郎君・恵子さん～28回目の結婚記念日でした。よく付いてきてくれています。ありがとうございます、ありがとうございます！これからの宜しくお願いします。

<財団へ>

●岩切 正司君～例会出席に励みましょう。

■委員会報告



●日高 邦孝君

●靱田 直樹君



●藤堂 孝一君

●永野 陽子君

4つのテスト

『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか。
2. みんなに公平か。
3. 好意と友情を深めるか。
4. みんなのためになるかどうか。

メモ